

令和6年度 シラバス

科目名	単位数 (時間数)	学科・学年	担当者氏名 (実務経験)
理容技術理論	4 単位 (120 時間)	理容科美容修得者課程	砂金雄太 (H13～H20 理容室勤務)
学 習 目 標			授業の方法
<p>技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度や習慣を養い、工夫と創造の能力を身に付けさせる。理容業務を安全かつ効果的に行うため、美容器具の科学的知識と正しい取り扱いの方法と基礎的技術とを作業の実際に即して指導し、習熟させる。</p> <p>優れた技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを知らせる。</p>			講義
成 績 の 評 価 方 法			
定期考査 (60 点以上を合格とする)			
教 科 書		副 読 本	
理容技術理論 1.2 (公益社団法人 日本理容美容教育センター)			

学習指導年間計画 (授業計画)

項目・内容	時間数
第1章 理容技術の基礎	17
第2章 理容用具	8
第3章 ヘアデザイン	4
第4章 ヘアカット	20
第6章 パーマネントセット	12
第7章 ヘアカラーリング	8
第8章 シェービング	9
第9章 理容エステティック	6
第10章 理容クリニック	3
第11章 シャンプーイング&リンシング	12
第12章 理容マッサージ	9
第13章 ヘアトリートメント	6
第14章 スカルプトリートメント	6

令和6年度 シラバス

科目名	単位数 (時間数)	学科・学年	担当者氏名 (実務経験)
理容実習	23 単位 (690 時間)	理容科美容修得者課程	砂金雄太 (H13～H20 理容室勤務)
学 習 目 標			授業の方法
理容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させる。 衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒など適切な実施方法を身に付けさせる。 個々のお客様の要望に応じた技術を確実に提供できるよう、総合的な技術の基礎を身に付けさせる。			実習
成 績 の 評 価 方 法			
定期考査 (70 点以上を合格とする)			
教 科 書		副 読 本	
理容技術理論 1.2 (公益社団法人 日本理容美容教育センター)			

学習指導年間計画 (授業計画)

項目・内容	時間数
第4章 ヘアカット	180
第5章 ヘアセット	15
第6章 パーマメントセット	165
第7章 ヘアカラーリング	20
第8章 シェービング	125
第9章 理容エステティック	60
第11章 シャンプーイング&リンシング	65
第12章 理容マッサージ	30
その他	30